経済産業省

資料３

今年度の検討事項について

令和５年６月
経済産業省　商務情報政策局
情報技術利用促進課

令和5年度「デジタル時代の人材政策に関する検討会」について（案）

開催の背景・趣旨

■ 本年5月に立ち上げられた「AI戦略会議」の「AIに関する暫定的な論点整理」（5月26日）において、デジタル人材の育成・確保について以下が示されたところ。

“また、デジタル人材の育成・確保も重要である。学びの指針となるデジタルスキル標準など、様々な人材育成策が掲げられてきたが、AI、特に生成 AI の登場を踏まえた必要な見直しを早期に検討すべきである。”

■ これを受けて、これまで本検討会で継続的に議論しているデジタル人材の育成のあり方についても、生成AIの登場、更にはその進化を踏まえて、どのような影響があり得るか検討を開始したい。

■ 主な検討事項として以下：

1. デジタル人材育成に係る生成AIのインパクトをどのように捉えるか
2. デジタル人材育成・デジタル人材のスキルに及ぼす具体的な影響（各スキルの重要度の変化や新たに必要となるスキル等）
3. 生成AI時代のDX推進に必要な人材・スキルの考え方（デジタルスキル標準(DSS) の見直し、デジタル人材育成プラットフォームの活用策等を含む）

デジタル時代の人材政策に関する検討会（開催スケジュール案）

第１回（6月13日）

・事務局説明（①経産省のデジタル人材育成の取組状況報告、②今年度の検討事項）
・IPA説明（生成AIに係る有識者との意見交換結果報告、DSS見直しに向けた検討等）
・外部有識者ヒアリング①（東京大学大学院工学系研究科 松尾 豊教授）

第２回（7月6日）

・外部有識者ヒアリング②（生成AI開発・提供者）

第３回（7月中旬）

・外部有識者ヒアリング③（ユーザー企業）

第４回（７月下旬）

・外部有識者ヒアリング④（人材育成、教育コンテンツ事業者）
・短期的なアウトプットの方向性の提示（DSS改訂案、デジタル人材育成PF活用策等）

第５回（８月中（P））

・とりまとめ（生成AI時代のDX推進に必要な人材・スキルの考え方）

※8月以降も生成AIの動向を見ながら中長期で継続議論

【参考】デジタルスキル標準（DSS）の全体像

- デジタル活用の担い手は、IT人材からDX人材へと変化していることを踏まえ、**DX時代の人材像をデジタルスキル標準として整理し、昨年末公表**。**個人の学習や企業の人材確保・育成の指針**に。
- デジタルスキル標準の活用を通じて、**全員がDX推進を自分事ととらえ、企業全体として変革への受容性を高めていく**ことが重要。

全てのビジネスパーソン（経営層含む）

＜DXリテラシー標準＞

全てのビジネスパーソンが身につけるべき知識・スキルを定義

- ビジネスパーソン一人ひとりがDXに参画し、その成果を仕事や生活で役立てる上で必要となるマインド・スタンスや知識・スキル（Why、What、How）を定義し、それらの行動例や学習項目例を提示

Why
DXの背景
社会、顧客・ユーザー、競争環境の変化

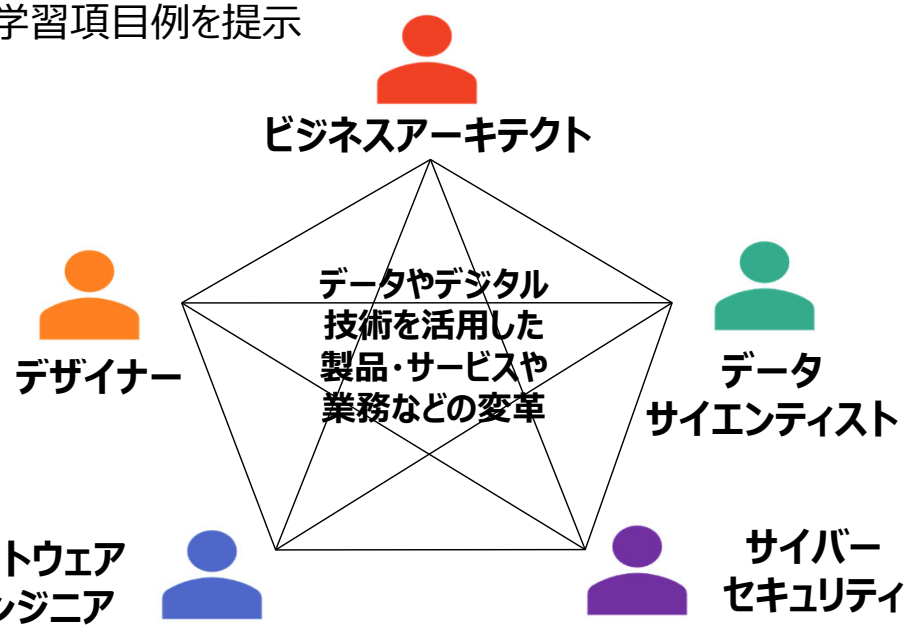
What
DXで活用されるデータ・技術
ビジネスの場で活用されているデータやデジタル技術

How
データ・技術の利活用
データやデジタル技術の利用方法、活用事例、留意点

マインド・スタンス
社会変化の中で新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動

DXを推進する人材

＜DX推進スキル標準＞

DXを推進する人材類型の役割や習得すべきスキルを定義

- DX推進に主に必要な５つの人材類型、各類型間の連携、役割（ロール）、必要なスキルと重要度を定義し、各スキルの学習項目例を提示